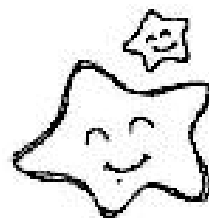


QSK にぬふあぶし

No.289

ね
子の方向の星



福島～岩手をめぐって

島田 正博

去年の3月11日、私は9年目の福島にいた。最後の不通区間となっていた JR 常磐線の富岡駅から浪江駅間で運転が再開され、JR 常磐線が全線開通することになる。夜ノ森駅の前に立っていた。富岡駅の次の駅だ。3日後の3月14日には列車が走ることになる。しかし、駅周辺の家々は堅く鉄門扉で閉じられていて、人の気配はない。少し離れたところにはガードマンが立っていて通行証がないと通れない。桜の名所も寂しげだ。大熊町、双葉町、浪江町と原発立地の町を見て回り、南相馬の原ノ町から電車に乗って石巻へと向かった。石巻では大川小学校へ行き多くの子供たちと教職員は何故逃げきれなかったのか、来る度に無念さが残る。大きな川と山に挟まれた地だ。そこを後にし、海沿いに車を走らすと南三陸町に着く。あの何度もテレビで映像が流れた赤い鉄骨の防災庁舎は周囲がかさ上げされて公園化された一角にあり、その北側にはさんさん商店街という復興商店街がある。そこで昼飯を食べ、一路北へと向かう。しばらく車を走らすと気仙沼だ。ここも大きな被害を受けたところだ、市役所の壁には今でも2メートルぐらいの位置に津波の跡が残っている。被害を受けた向洋高校の伝承館は息をのむ。ここは屋上へ逃げ一人の死者も出さなかったが、教室の中は机やイスが散乱し、車が突っ込んでいる。そのままの状態震災遺構として活用している。気仙沼を出ると次は陸前高田だ。あの奇跡の一本松はコンクリートに変わってしまったなぜかさみしげだ。ここはかさ上げされた土地に立派な伝承館が建っているが、何故かなじみにくい雰囲気だ。早々に退散する。三陸の海岸を走らせると実に空気は美味しい。大船渡で車を返し、三陸鉄道リアス線の旅だ。リアス式海岸を眺めながらの旅は津波さえ来なければと悔やむ。過疎には違いないが、家並み海と白い砂浜を眺めながら自然の力に改めて感服する。

釜石で降り、改めてレンタカーに乗り、岩手県の宮古市へ向かった。海岸線は見上げるような高い堤防に遮られているが、そこを上ると豊かな砂浜がある。宮古市まではそんな堤防との付き合いだった。途中の山田ではクジラ資料館へ行って見たが、残念新型コロナで閉館中だ。宮古市で旅は終わったが、新型コロナに追われるようにホウホウの体で逃げ帰ってきた。

原発事故の除染ごみ (フレコンバッグ)。10年経っても仮置き場だという。(浪江町) ↓



↑ 国道6号線は通行可能となったが、住んでいた人は戻ってこれない。

☆★☆☆☆★☆☆☆★☆☆☆★☆☆☆★☆☆☆★☆☆☆★☆☆☆★☆☆☆★☆☆☆

前号で報告いたしました、2021年1月9日(土)「戦後75年：沖縄の障害者は何を主張してきたか」をテーマとしたオンライン講座を主催した沖縄国際大学・南島文化研究所をご紹介します。

1978年4月に設立。初代所長に宮城栄昌文学部教授、副所長に高宮廣衛文学部教授という重厚な布陣でスタート。これまで一貫して沖国大の優秀な教授陣で代表を務める沖縄を代表する研究機関である。1980年には第1回の市民講座が沖縄タイムス社との共催で開かれ、翌年には琉球新報社との共催で開かれ、以後隔年ごとに両新聞社との共催で文化講座を開いてきた。そのテーマは実に多様で琉球舞踊の鑑賞から「沖縄における女子労働の移り変わり」、村々に残る伝承文化や外来文化、離島の風習まで幅広い。研究はそこにとどまらず琉球弧の島々、東南アジア、朝鮮、中国と沖縄を軸に同円周で広がっている。同時に大学に墜落した米軍ヘリの事故調査や強制接收前の在りし日の宜野湾の姿。沖縄戦、社会問題と実に多岐にわたる研究と市民への積極的な発信を続けている。今回の市民口座について、「広く南島文化研究において障害者団体のことを捉えなおす試みをする機会としたいと結んでいる。

南島文化研究所
の調査地域
(同研究所の
ホームページより)



てるしのワークセンター 製パン班

菓子パンや食パンなど美味しいパンの製造販売をしています。

コロナ禍の現在、販売の仕方に変更はありますが、製造については、通常の食中毒予防のために行っている一般的な衛生管理をより徹底し実施することで、安心安全な製品をお届けできています。

出張販売場所

- 月曜日と木曜日 午後2時～午後3時
南風原商工会、琉球かすり会館、
南風原文化センター 玄関前等
- 火曜日と金曜日 午後2時～午後3時
南部福祉保健所、精神保健福祉センター、
健康づくり財団 玄関前等
- てるしのワークセンターでの販売
水曜日以外の午後1時～午後2時
どなたでも購入可能です。駐車場あります。



ご注文やご要望などございましたら、お気軽にお問い合わせください。

てるしのワークセンター 電話 098-889-4011 (大城)

★職員募集★ ヘルプステーションてるしの

所在地 那覇市三原 2-15-13 ひかりビル 1F

雇用形態 フルタイム、パートタイム、登録ヘルパーなど相談に応じる
(詳しくはご相談ください)

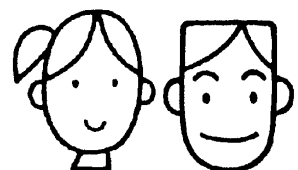
採用要件 介護職員初任者研修以上 要普通運転免許 (AT可)

仕事内容 障がい福祉および介護保険における、利用者居宅の訪問によるサービスの提供。

ホームヘルパー※居宅介護、同行援護、重度訪問介護など)

労働条件等 雇用形態ごと、就業規則による

問合せ・申し込み 電話 098-927-6345 (玉城)



映画『夜明け前のうた』公開記念イベント 沖縄

①公開初日4月3日(土) 11時30分の 初回上映後に舞台挨拶あり 桜坂劇場
舞台挨拶:上映後の13時08分~:原義和(監督)、宮城さつき(ナレーション)、
ダンザタカラ(舞踊)、幸恵さん(私宅監置 犠牲者遺族)

②4月4日(日)は13時~上映、上映終了後の14時38分~ 橋本明氏の講演
講師:私宅監置研究者 橋本 明さん 司会:原 義和(監督)
※映画鑑賞の方のみ参加可能

映画のモチーフは、1960年代に沖縄で撮られた写真。精神障害者が隔離された生々しい現場です。法律に基づく社会制度としての隔離でした。戦前の精神病者監護法が、亡霊のように戦後沖縄で生きていた…

そもそも日本は、どのような国づくりを目指してこの法律をつくったのか。

今も日本という国の根底にあり続けている差別抑圧の本性……

●講師は「私宅監置」研究の第一人者、橋本 明(愛知県立大学教育福祉学部教授)

★4日は16時からジュンク堂那覇店でもトークイベント

『いま 私宅監置を問う~誰ひとり取り残さないために』

橋本明さん、幸恵さん(私宅監置犠牲者遺族)、原義和(監督)がトークします★

③ 那覇市ぶんかテンプス館(3階ギャラリー)で写真展

3/30(火)~4/4(日)10時~19時 入場無料です。

2018年4月、隠されてきた沖縄の闇の歴史に光をあて、反響を呼んだ写真展が再び!

映画のモチーフである私宅監置の現場写真や証言パネル展示。監置小屋の疑似体験も。

問合せ先: TEL. 098-889-4011 (沖福連 担当: 高橋、山田)

◎編集後記◎

沖縄県独自の緊急事態宣言が解除になる前に国際通りを通ると、お土産品店に何組もの観光客の姿がありました。

「奇跡の1マイル再び! 頑張れ国際通り応援プロジェクト」CMも流しているし、国際通りを昔遊び場にした私も買物で応援しようと思います。(は)

編集: 公益社団法人 沖縄県精神保健福祉会

会長 山田 圭吾

〒901-1104 沖縄県島尻郡南風原町字宮平 206-1

てるしのワークセンター内

電話 098-889-4011 FAX 098-888-5655

E-mail terushino@castle.ocn.ne.jp

発行: 九州障害者定期刊行物協会

〒812-0054 福岡県福岡市東区馬出 2-2-18

電話 092-753-9722 FAX 092-753-9723

定 価: 10円(会費に含まれる)